



# 例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 井辺 一章
- 幹事 堺 和信
- 会報委員長 田中 晶洋



江名子川七夕風景 田中 晶洋

## <会長の時間>

先日『ロータリーの友』の記事紹介時に、RI 会長の「30 代のビジネスマンを迎え入れるのに出席へのこだわりを減らすことはその方法の一つ」という発言を雑誌広報委員長が採り上げられました。また、4 月に開催された規程審議会では例会開催や出席に関しても大幅な規程緩和となりました。しかし日本のロータリーが順守してきた「例会と出席」を重視し、2630 地区では剣田ガバナーが「最も出席するもの最も報われる」の地区方針を打ち出されています。我がクラブもガバナーの方針に従いクラブを盛り上げていきたいと思っています。



## <幹事報告>

- ◎はぐるま会 会長より
  - ・第 1 8 4 回はぐるま会開催のご案内
  - 日時 9 月 4 日(日) 13:11 スタート 会費 3,000 円
  - 場所 飛騨高山カントリークラブ
- ◎高山市長 より
  - ・高山市制施行 8 0 周年記念式典のご案内
  - 日時 11 月 11 日(火) 第 1 部 10:00~第 2 部 14:00~
  - 場所 高山市民文化会館大ホール
- ◎光記念館より
  - ・光ミュージアム特別展のご案内および招待券・優待券
  - 上松公園と美人画 期日 9 月 9 日(金)~12 月 6 日(火)
- <受贈誌>
  - 米山記念奨学会(ハイライトよねやま 197)、飛騨高山国際協会(総会資料)、飛騨作家協会(文苑ひだ)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	26 名	8 名	34 名	39 名	87.18%
本日	35 名	-	35 名	40 名	87.50%

## <新会員紹介>

有限会社サンケア  
代表取締役  
萱垣 敬慈



## 筆頭推薦者 狹土 貞吉

先般 8/12 日(金)この例会上で本人から自己紹介、会社の概要等お聞きしましたので私が萱垣社長を我がクラブにお誘いした経緯と推薦理由を述べて紹介に変えさせていただきます。最初高山警察署長にまねてなぞかけの一つ サンケア「はびり」萱垣社長とかけてロータリーと説く、その心はどちらも「奉仕の心」が原理原則。今ひとつ 萱垣敬慈氏とかけて夏の甲子園球児、又今活躍中の金メダルアスリートを育てた監督さん達と説く その心はどちらも「山本五十六」と同じくやってみせ、言ってみせて、やらせて褒める。当たり前のことを当たり前に確り行う「凡時底教育」とその厳しさにあり。私は今、萱垣氏の会社「はびり」でリハビリ治療を受けています。社長の「目配り、気配り、心配り」この 3 本の矢が確りなされた「社員教育」を毎日感心して見えています。彼は仕事の鬼であり、「社員と患者」を大事にし、その奉仕の心、その家族的経営手腕はすごいものがあり先日のお話を聞いての通り今、正に伸び盛りの素晴らしい会社です。又働くスタッフの皆さんも社長と同じく 3 本の矢をもって良く動き、優しく、女性は器量良しの「女神」ばかりで、ここで私は治療を受けているお陰で此処までに回復ができ、ロータリーを退会せず、又例会も毎回出席でき有り難く感謝の気持ちで一杯です。私はこの萱垣社長の人使い、お人柄に惚れて、我が西クラブへの入会を勧め推薦をさせていただきました。無事幹事通告が通り、先日のスピーチを聞いたわけですが正直、私以上にロータリーを知り勉強している姿に驚きました。私は泥団子であり、彼こそ我がクラブの「金の卵」かと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

## <本日のプログラム> 会員スピーチ



高桑 光範

本日は皆様方のお大変貴重なお時間を頂戴し、新入会員スピーチをさせていただきますことに心から感謝申し上げます。

## 例会報告

それでは自己紹介を中心にお話を進めて参りたいと思います。

私は昭和38年12月生まれ、現在満52歳です。故郷は愛知県の祖父江町です。祖父江町はかつては中島郡でしたが、2005年に稲沢市に編入されました。銀杏の生産が日本で、大粒でもちもちしていてとても美味しいです。毎年11月下旬に町が黄金色に染まる中、「そぶえイチョウ黄葉まつり」が開催され、多くの人で賑わいます。また、善光寺の東海別院、通称「祖父江善光寺」があり、観光バスなどで多くの参拝客が訪れます。善光寺と言えば戒壇めぐりが有名ですが、祖父江善光寺の戒壇めぐりは、暗闇で発光する「お守り」を右手首にはめて入ります。信州善光寺のように真っ暗ではなく、中の一部が明るくなっていて「極楽世界の様子」が立体的に安置してある「極楽戒壇めぐり」となっています。先ほどご紹介しました「そぶえイチョウ黄葉まつり」とともに、是非お出かけしてみてください。

話は変わりまして、平成3年に結婚し、しばらくしてから大垣に小さな居宅を構え、大垣市民となりました。現在は高山に単身赴任しています。大垣に家を建てたのは、私どもの本店が大垣にあるから…というわけではなく、家内が滋賀県出身であり、愛知県と滋賀県の間辺りということで居住地を探した結果、縁あって大垣に居住することになったわけです。ちなみに私は滋賀大学卒業で、家内とは学生時代に知り合いました。その後紆余曲折がありながらもお陰様で腐れ縁カップルとして長く続いております。

次に趣味の話に移らせていただきます。社会人になってからこれまで、いろいろなことに興味を持ちましたが、主なものをあげますと、まずは、このところ何年もやってはいませんが、魚釣りです。ジャンルは海釣り。特にクロダイ、釣りの世界では俗にチヌと言いますが、チヌを狙って、福井県や三重県の海へ月に何度か足を運んだものです。磯釣りではなく、港で団子釣り、砂浜で渚釣りという独特な釣り方を楽しんでいました。全くのボウズで帰ることも多々ありましたが、釣りがたの魚を食べられるのは釣り人の特権で、釣果があれば家族にもそれなりに喜んでもらえました。それだけ夢中になっていた魚釣りですが、いつのまにか遠ざかっていきました。

新しい趣味を見つけたからです。何かと言いますと、ギターの弾き語りです。アコースティックギター、いわゆるフォークギターです。これは今も続いています。実は高校時代から大学時代の途中まで少しかじったことがありました。恥ずかしながら、当時は若気の至りでシンガーソングライターを夢見ていたのですが、ギターも歌も下手くそで、当然のごとく挫折して、自然と離れていったわけです。ところが、今から6年くらい前になりますか。この高山支店の二つ前、愛知県一宮市にある浅井支店に支店長として赴任しているとき、取引先である電気工事会社の社長が倉庫を改装してギターの弾き語りができるライブ会場を運営していたことを知ったのです。よく訪問する先でしたが、初めは全く知らなくて、あるとき社長からふと聞かされ、その倉庫へ連れていかれました。ライトを点けるとステージが浮かび上がり、そこにはマイクがあり譜面台があり音響設備があり、そして壁には何本ものギターが並んでいました。社長の了解を得てギターを手にしてポロンと鳴らすと…。シンガーソングライターを夢見ていたあの頃が一瞬にして蘇ってきたのです。果たして、その2週間後には家にヤマハの新しいアコースティックギターがありました。買ってしまったのです。その後2本3本とギターが増え始めていきました。昔はお金がなくて手にできなかったマーチンやギブソンといった憧れのギターも、どうにか手に入れることができました。ギターの腕前は全く上達していませんし、歌も下手くそそのままですが、憧れのギターを手にしてシンガーソングライターになった気分がライブ活動を疑似体験できる魅力にすっかりはまってしまったわけです。

実は高山支店へ赴任後は、目の前の仕事に追われ続ける毎日でもギターなど弾く時間は全くなく、休眠状態になっています。この高山の地でもいろいろな所でライブ活動が行われているようですので、いつの日か落ち着いたら何処かで遊んでみたいと思っています。

その他に最近始めた趣味として、ご朱印集めと写真撮影があります。高山にはたくさんのお寺や神社がありますので、高山支店赴任中にご朱印を全て網羅したいと企てています。また、先日ミラーレスの一眼デジタルカメラをゲットしましたので、風光明媚な高山の町の様子をたくさんカメラに収めておきたいと思っています。

それでは次に、私の銀行員生活の経歴についてお話をします。

銀行に入行したのは昭和61年です。ちょうど30年前ということになりますが、今年当行の創立記念日である3月9日に銀行から勤続30周年表彰をいただきました。家族をはじめ、銀行で出会った諸先輩や同僚、そして何よりも銀行はお客様商売であり、これまでにご愛顧、ご指導いただきました多くのお客様に心から感謝の思いを抱いた次第でございます。

話は戻りまして、銀行に入って最初の赴任地は愛知県にある甚目寺支店でした。名古屋市郊外にある小さな店で、そこでマンツーマン教育を受け、2年後に愛知県稲沢市にある大里支店へ転勤、得意先係として外回り人生が始まりました。

その後は愛知県の尾西支店、名古屋市内にある大曾根支店へと異動します。この大曾根支店在任中に一度大きな壁にぶち当たりました。自分で言うのもおこがましいですが、それまでは外回りとして相応の成果を残してきた自負がありました。しかし、融資案件をとってくるにあたり自分の案件組み立て能力の拙さに直面したのです。融資案件をとるのは好きだったので、どちらかと言えば「お願いセールス」であり、「野生の感」だけを頼りに、一言元気よく「社長、是非ともお金を使ってください。ありがとうございます！」と、こんな調子でした。融資案件をとってくると、担当者は店内で協議書を作成して、何故この融資案件を取り組むのか、条件はこういう理由でこうなり、この財源に基づいて返済していただきます、ということを経路整然と説明しなければならぬわけです。実は、大曾根支店は愛知県で一番古い支店、つまり当行の愛知県進出第1号という歴史のある大きな店で、割と優秀なスタッフが揃っており、「野生の感」だけで生きてきた私には極めて高いハードルと思えたのです。そしてついに当時の支店長に融資係をやらせてほしいと懇願しました。初めは得意先係をしながらでも十分勉強できると一蹴され実現しませんでした。ある融資係人員の異動の時に支店長から呼ばれ、そこまで言うのなら一度やってみるか、とチャンスを与えてくれました。

晴れて融資係となりますが、なかなか稟議書を上手く書くことができません。恥ずかしい話ですが、新入行員から「高桑さん、この本屋さんに行くと『稟議書の書き方』というこんな本を売っていますよ」と言われる始末。そう、まさに新入行員と同レベルだったのです。当然言われるがまま帰り道にその本屋さんへ走り購入、毎晩読んで勉強しました。でも稟議書はなかなか前へ進んでいきません。稟議書は通常、最初に上司の役席に見てもらってから次長席へ回ります。ところが、この次長がやっかいで大きなハードルになっていました。次長席へ回ると必ず「高桑くん、こっちに来なさい」となり、そこで思い切りダメ出しを食らいます。でも、この次長の素晴らしいところは突っ返すだけで終わらなかったことです。なんと、赤鉛筆でこう書くべきだと校正してくれたのです。大変細かくて厳しい次長でしたが、この校正作業が私を早く成長させてくれました。半年経った頃、重要な大型融資案件の稟議を回した時のこと。いつものごとく「高桑くん、こっちへ来なさい」と呼ばれまし

## 例会報告

た。またか、と半ば辟易として前に立つと、「高桑くん、合格！」。この時ばかりは本当に嬉しかったです。それからやっとスムーズに私の書いた稟議書が支店長席へと回るようになりました。ちょうどその頃、今度は支店長から呼ばれました。一体何事かと恐る恐る前に立つと、「高桑、お前は店の中にいたらうるさいので、もう一度外へ出ろ」となったわけです。基本的に外回りが大好きでしたので、正直言って喜びました。このまま融資係になってしまうのかとかなり不安に思っていたので。こうして再び外回り人生が復活し、半年融資係として勉強したことを生かして融資案件獲得に励みました。

その後、岐阜駅前支店へ転勤、同時に得意先係係長を拝命されました。この店も歴史のある大型店で、当時の支店長は役員で、初役席として結構修羅場でした。

実は、大曾根支店の時に職員組合の非専従の執行委員になっていましたが、岐阜駅前支店赴任1年後に職員組合専従となり、その後3年4か月間、銀行業務から離れることになりました。職員組合では書記長、副委員長、委員長と貴重な経験をさせていただきました。

職員組合執行委員の任期満了後、半ば「浦島太郎」状態で銀行の現場へ復帰、復帰初任店は愛知県の豊田支店。大垣から電車で片道ドア to ドア2時間の長時間通勤でした。

豊田支店でしっかりとリハビリした後、愛知県知多半島の麓にある東海支店へ次長として異動となりました。ここも片道1時間45分程度の長時間通勤でした。次長でありながら役員全員の中で一番年下であり、組織の中での振る舞い方をしっかりと勉強させていただきました。

次に岐阜支店へ異動となりました。ここではなんと融資次長を拝命され、外回り畑の私にとっては青天の霹靂でした。岐阜支店は本店営業部、名古屋支店と並ぶスーパー大型店で、支店長は常務取締役。融資係だけでも小さな店舗並みに10数名いて、部下は全員が融資のスペシャリスト。大曾根支店時代に稟議の書き方は勉強しましたが、その後直ぐに外回りに復帰したため、融資実務については殆ど無知でした。私の知る限り歴代岐阜支店融資次長は全員が融資のプロ。正直もう銀行員生活は終わりかと思いましたが。でも流石は岐阜支店。部下たちがとても優秀です。実務は全て直下の支店長代理以下がこなしてくれ、かつ融資実務については素人の私を盛り立ててくれ、私は支店長席への説明、本部との折衝、関係当局とのヒアリング立ち合いなど、ある意味その後の管理者としての動き方、また融資実務はわからなくとも融資判断についてはしっかりと勉強することができました。この岐阜支店での経験がなければ今の私は存在しないと言っても過言ではありません。岐阜支店融資次長の人事異動について、一度は人事部を恨みましたが、今は心から感謝しています。

当時の岐阜支店の常務取締役支店長もバリバリの融資畑でしたが、数年後こんな私をどうにか卒業させていただき、愛知県の一宮南支店支店長を拝命することになります。

さて、初支店長。昔は全ての支店に次長がいましたが、最近では小型店には次長がいません。この一宮南支店も然りで、支店長でありながら次長の仕事もしなければなりません。そういう意味では結構忙しかったのですが、何せ初支店長、しかも若さがあったので、思い切り張り切りました。この店は比較的新しい店で、預金より融資が多いオーバーローンの店。自ら融資案件を見つけるため毎日のように市内を走り回っていました。

その次の店は、同じく愛知県一宮市にある浅井支店。ここも次長が不在でした。ただ一宮南支店と違って歴史はそこそこあり、融資より預金が大幅に多く、どちらかと言えばゆったりした雰囲気のお店でした。

浅井支店でのんびり過ごしていましたが思いも寄らぬ1年8

か月後、岐阜県の関支店への異動を命ぜられました。ここは出張所を合わせると50名ほどの大所帯の店です。この高山市と同じく1市1店舗で、関市も平成の大合併で大きくなっており、広いエリアを受け持つことになります。それでも隣の市町村には必ず当行の別の店舗があり、広いと言いつつ境界線ははっきりしていました。前任の浅井支店の赴任期間が1年8か月と余りに短かったせいか、この関支店では逆に4年6か月と長い期間居座らせていただきました。

そして今年の5月半ば、辞令交付式で頭取よりこの高山支店への異動を命ぜられました。当然ながらこれまでの人事異動で一番緊張感のある辞令でした。1999年12月開設という、決して歴史のある店ではないのですが、当行がこの飛騨高山地区にかける思いは高山支店開店当時から内々で伝わっていただけに、また開店以来のお歴々の支店長が素晴らしい大先輩であっただけに、この私が高山支店長？ と率直に驚きました。

飛騨高山地区での仕事はまだ始まったばかりで、未だ足許すら固まっていない状況ですが、焦らず、しかしスピード感を持って、今までの銀行員生活の集大成くらいの気持ちで頑張る所存でございます。また、高山は岐阜県の中でも最も活気に満ち溢れる観光の町です。こんなに風光明媚かつ賑やかな町でせつかく過ごすことができるわけですので、仕事は厳しいですが、高山ライフを思う存分楽しんでいきたいと心から思っています。

本日は長時間に亘りましてとりとめのないお話にお付き合いいただき、誠にありがとうございます。こんな生い立ちの私ですが、何卒皆様からの温かいご支援ご鞭撻を賜りますことを切に願ひまして、そろそろ本日の会員スピーチを締めくくりたいと存じます。

ご清聴、誠にありがとうございました

### <ニコニコボックス>

#### ●井辺 一章さん、堺 和信さん

後半のオリンピックでも、日本人選手が大活躍。毎日テレビに釘付けで何回同じシーンを見ても感動します。あと2日頑張れニッポン!! 萱垣敬慈さん、当クラブへのご入会おめでとうございます。今後ともよろしく願いいたします。本日の例会は会員スピーチです。例会変更で1ヶ月早くりましたが、高桑さんよろしく願いいたします。スピーチ楽しみにしています。

#### ●塚本 直人さん

ケー連日暑い日が続いています。リオオリンピック、高校野球など国民も燃えています。夏休みもようお終わりが見えてきて家庭にも穏やかな日々が戻ってきそうです。本日は高桑さんのスピーチを楽しみにしています。

#### ●萱垣 敬慈さん

本日から入会させていただきます。末永くよろしくお願い致します。

#### ●大村 貴之さん、黒木 正人さん、鴻野 幸泰さん、杉山 和宏さん、

狹士 貞吉さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん

歓迎!! 新会員 萱垣 敬慈さん。これからよろしく願いいたします。

#### ●下屋 勝比古さん

8月14日、予選通過できずNHKのど自慢出演できませんでした。TVの前でお待ち下さった方ゴメンナサイ。

#### ●田中 武さん、松川 英明さん

見事!金メダル!! 伊調馨【レスリング】フリースタイル女子58kg級、登坂絵莉【レスリング】フリースタイル女子48kg級、土性沙羅【レスリング】フリースタイル女子69kg級、川井梨紗子【レスリング】フリースタイル女子63kg級、高橋礼華・松友美佐紀【バドミントン】女子ダブルス

「金メダル12 銀メダル6 銅メダル18(H28.8.19 11:00現在)」